

1 10代のための座右の銘
今を変える未来を変える



- ① 大泉書店編集部/編
- ② 大泉書店
- ③ 1300円
- ④ 15才015

「実行力のある人になる言葉」「苦難に勝てる人になる言葉」など、様々な偉人たちの「座右の銘」が、そのプロフィールやエピソードなどとともに紹介されています。これからの時代を生きる中学生の人生の指針となる本です。

2 きみ江さん
ハンセン病を生きて



- ① 片野田斉/著
- ② 偕成社
- ③ 1600円
- ④ 28ヤ015

ハンセン病と診断されたきみ江さんの一生を描いた作品です。様々な困難に負けず、前向きに生きてきた主人公の姿を通して、何事も「正しく知る」ということが差別や偏見を取り除いてくれる第一歩だと考えさせてくれるノンフィクションです。

3 世界を平和にするためのささやかな提案



- ① 黒柳徹子/ほか著
- ② 河出書房新社
- ③ 1200円
- ④ 31イ015

「世界を平和にする。」難しそうだけれど、実はごく身近な毎日の中で始められることかもしれません。様々な世界で活躍する22人が、平和を実現するための第一歩となる「提案」をしています。できることが、きっと見つかることでしょう。

4 <刑務所>で盲導犬を育てる



- ① 大塚敦子/著
- ② 岩波書店
- ③ 840円
- ④ 32才015

刑務所で盲導犬の候補として子犬を育てる、日本初の試み「パピーユニット」。犬の世話を通じて、受刑者たちの気持ちはどう変わっていったのでしょうか。盲導犬をめぐる事情なども理解でき、感動とともに考えさせられる内容です。

5 起業家という生き方



- ① 小堂敏郎/著
谷隆一/著
- ② ペリかん社
- ③ 1500円
- ④ 33コ014

起業家とは「自分で考えた新しい事業を実行し、社会に貢献していくことを目指した人」のことです。

失敗をおそれずに、未開の分野に真剣に取り組む、歴史に名を残した8人の起業家たちの生き方を紹介しています。

6 真夜中のディズニーで考えた働く
幸せ



- ① 鎌田洋/著
- ② 河出書房新社
- ③ 1300円
- ④ 36カ014

憧れのディズニーで働きたい、そんな夢を実現した著者が、仕事を続ける中で考えてきた「仕事」と「人生」について語ります。思い通りにいかない時でもあきらめずに、できることをしていく大切さや、楽しく生きるためのヒントを教えてください。

7 14歳からわかる生命倫理



- ① 雨宮処凛/著
- ② 河出書房新社
- ③ 1200円
- ④ 49ア014

「出生前診断」「精子提供」などの誕生に関する事や「脳死判定」「安楽死・尊厳死」などの死についての事など、私たちの身の回りで起きている生命についての問題をわかりやすく紹介しています。

大人でも結論を出すことが難しいテーマですが、考えるきっかけを与えてくれます。

8 世界でもっとも貧しい大統領ホセ・ムヒカの言葉



- ① ホセ・ムヒカ/[述]
佐藤美由紀/[編]著
- ② 双葉社
- ③ 1000円
- ④ 51ム015

ウルグアイ第40代大統領ホセ・ムヒカが講演やインタビューで述べた言葉を紹介しています。

日本とは事情が異なる国の人物としての発言や行動、施策などには驚きもありますが、その点も含めて考えさせられる一冊となることでしょう。

9 トンネルの森1945



- ① 角野栄子/著
- ② KADOKAWA
- ③ 1200円
- ④ 91カ015

角野栄子さんが自分の戦争体験をもとに、少女・イコを主人公に書いた物語です。戦争の悲惨さや、親と離れて暮らす少女が感じる孤独と不安が、戦時下の日常の生活を通して描かれています。平和の尊さに改めて気付く一冊です。

10 向かい風に髪なびかせて



- ① 河合二湖/著
- ② 講談社
- ③ 1450円
- ④ 91カ015

4人の中学生の女の子たち、それぞれの視点で物語が展開します。外見が「かわいい」かどうか、そんな容姿の問題に揺れ動く気持ちが丁寧に描かれていて、きっと共感できることでしょう。ちょっとせつなく、さわやかさも残る作品です。

11 てんきになあれ
すぎもとれいこ詩集

- ① すぎもとれいこ/詩・絵
- ② 銀の鈴社
- ③ 1200円
- ④ 91ス015

中学生にとって身近なできごとが、なじみやすい言葉で描かれています。

平仮名をテーマにした「ひらがなの詩」は、普段何気なく使っている文字に注目し、言葉でイメージを広げていくことの楽しさを伝えてくれます。

12 十代に贈りたい心の名短歌100

- ① 田中章義/[編]著
- ② PHP 研究所
- ③ 1150円
- ④ 91タ014

万葉の時代から現代までの名短歌100首が収められています。

短歌や歌人の名前は耳にしたことがあるけれども、その短歌に込められた想いを知ることによって印象が違ってくることもあるでしょう。誰もが一つは共感できる作品と出会うことができる一冊です。

13 走れ、走って逃げろ

- ① ウーリー・オルレブ/作
母袋夏生/訳
- ② 岩波書店
- ③ 720円
- ④ 92オ015

主人公の少年スリックは、ユダヤ人迫害に遭いながらも過酷な環境を克服し、精一杯生きる術を身に付け、友情を育んでいきます。実話に基づいた話で、中学生に生きる勇気と希望を感じさせることのできる物語です。

14 ぼくと象のものがたり

- ① リン・ケリー/作
若林千鶴/訳
- ② 鈴木出版
- ③ 1600円
- ④ 93ケ015

15 ワンダー

- ① R. J. パラシオ/作
中井はるの/訳
- ② ほるぷ出版
- ③ 1500円
- ④ 93ハ015